セミナー等による若手女性の農業基礎知識の習得

１　普及活動のねらい

家庭内の役割分担で家事や育児を担う女性の多くは、農業と生活面の両立が負担に感じており、農家子弟と比べても農業を学ぶ機会が少ない。一方で、女性が活躍する農業経営体は販売額の向上や経営の多角化など経営発展する例も多くあり、農業者の減少が見込まれる中、農業経営における女性農業者の役割は重要である。そこで概ね 40 歳代までの女性農業者を対象としてセミナーの開催や情報提供等により知識習得を支援している。

２　普及活動の成果

計４回のセミナーを開催し、管内の農業者に広く参集し、参加者は延べ 55 名（16 名、12 名、26 名、12 名）、うち若手女性農業者は８名（２名、２名、２名、２名）だった。受講者に対するアンケートでは約９割の参加者がセミナーの内容を「理解できた」と回答した。

また、12 月に、対象者へ経営参画に関する意識調査を実施したところ、４名が前年度より知識・技術を深化し、経営参画意識の向上が見られた。

３　普及活動の内容

セミナーは、７月、11 月、１月に計４回開催した。第１回及び第３回はＪＡあいち経済連　瀧 勝俊主管による「イチゴの土づくりの基礎」、「レンコンの土づくりの基礎」をそれぞれ開催し、第２回は税理士法人成和　渡邊利明税理士による「農業簿記の実践（財務諸表の活用の仕方）」、第４回はソリマチ(株)セールス＆マーケティング本部 農業情報営業部橋本 浩治氏による「決算処理の実践」をテーマにから講義・実習を行った。各セミナーともに参加者の関心が高く、部会員がこぞって総出するセミナーもあった。情報紙については、「コミュニケーション」（７月）、「情報発信」（８月）を配付し、６名から感想や今後の意向について反応があった。また、個別巡回では、個別の課題に対応するとともに対象者の現況を直接把握する機会として役立った。



写真：講師の説明を熱心に聞く参加者

重点課題名	１　海部地域の多様な担い手の確保・育成
普及事項名	（３）女性農業者の能力向上に向けた取組推進